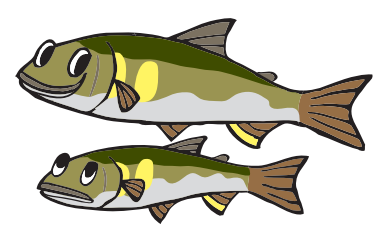


# 雨といきもの展

雨がふったら はじまるよ  
いきものたちの 全国ツアー!



- 開催館 = 信濃川大河津資料館 3階 情報ライブラリー内 特設会場
- 開催期間 = 平成 25年 9月 1日(日) ~ 9月 29日(日)
- 休館日 = 月曜日 ●開館時間 = 9:00 ~ 16:00 ●入館無料
- 主催 = 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
- 企画制作 = 水の巡回展ネットワーク
- 協力 = NPO法人気象キャスターネットワーク、ファンザミュージック、土木研究所 自然共生研究センター、東京学芸大学 環境教育研究センター、東京学芸大学 グラフィックデザイン研究室、九州産業大学 芸術学部メディアラボ 331、大河津可動堰上流護岸工事連絡会、大河津可動堰改築右岸関連工事連絡会



アユ  
*Plecoglossus altivelis*



この巡回企画展は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

# 雨といきもの展

アッコちゃん  
よるしくね！  
ほくらは  
マップは  
楽団☆



●みなさんは雨がすきですか？きらいですか？  
●雨の音がすき、長靴がすき、傘をもって歩くのが面倒、ぬれて大変、人それぞれ雨に対するいろいろな想いがあると思います。●では、

私たち人以外のいきものは、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか。●いろいろないきものの立場から雨をみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。●雨を待っているカエル、雨粒をはじく羽をもつチョウ、川の増水でつくられた場所を好む魚や植物、みんな雨と上手につきあいながら暮らしているのです。●この企画展では、いきものにとっての雨の恵みをテーマにした展示を、日本各地を旅する3匹の「アマツブ楽団」がご案内します。●日本の雨の特徴、雨に関する研究成果などのパネル、雨といきものに関する絵本展示やクイズ、雨音の楽器などの体験展示もあります。●そして、注目は映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示“ことばあめ”。

●アマツブ楽団と一緒に、ふだんと違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

▼インタラクティブ展示“ことばあめ”



▼いきものたちとのであいを絵本で紹介



あいら日本  
えろ各  
るい地  
かろを  
もな旅  
ね仲し  
！間て  
たち  
に



この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



## 信濃川大河津資料館 3階 情報ライブラリー内 特設会場

- 【交通】[電車でお越しの場合]  
●JR越後線「分水駅」から車で約5分  
●新幹線「燕三条駅」から車で約20分  
[お車でお越しの場合]  
●国道116号「五千石交差点」から車で約5分  
●北陸自動車道「栄スマートIC」から車で約20分  
【住所】〒959-0124 新潟県燕市五千石  
【TEL】0256-97-2195 【FAX】0256-97-2196

